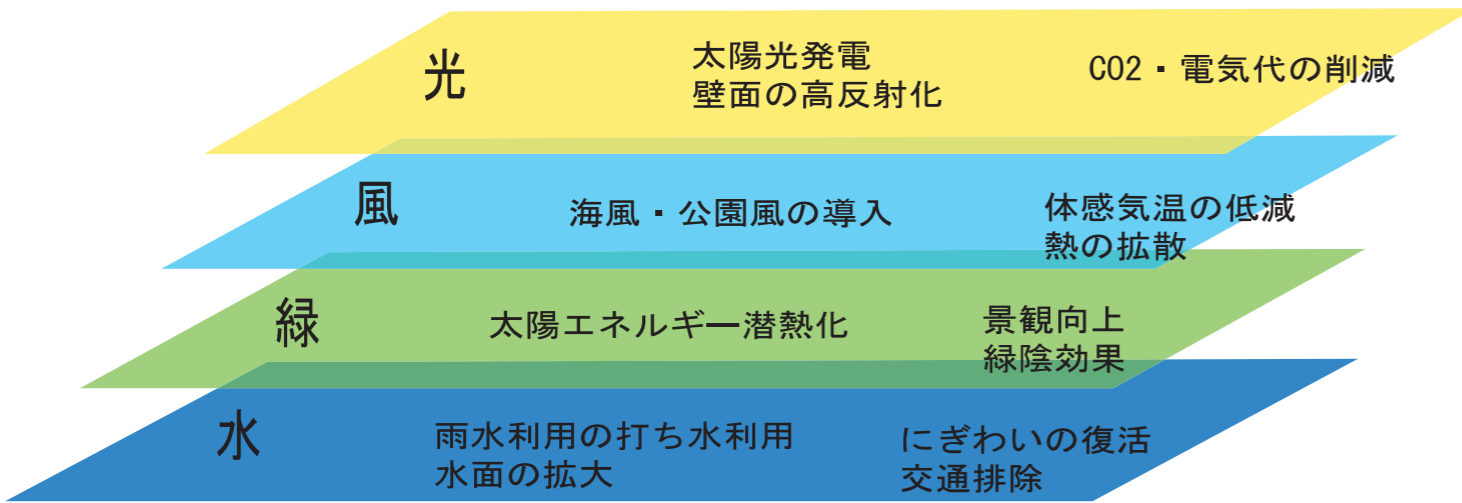


大阪の中心で涼しいと叫びたい！

Concept

ヒートアイランド対策技術を導入するとともに、街の魅力を向上させ、「働きたい町・訪れたい町・住みたい町」を形成する

ヒートアイランドの緩和対策 → 波及効果



Study Area



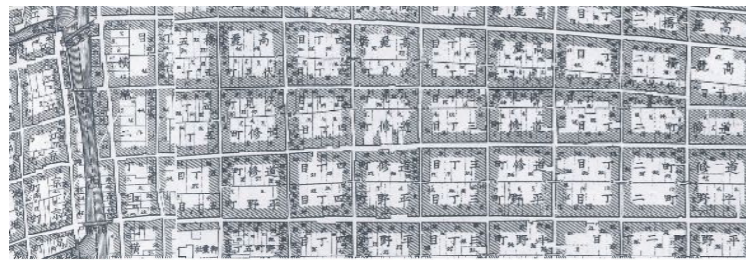
明治期に存在していた川

京町堀川は、土佐堀川と阪神高速道路の間に位置し、かつ、大阪湾と大規模な緑地帯を結ぶ軸である

→ 風の道に適している

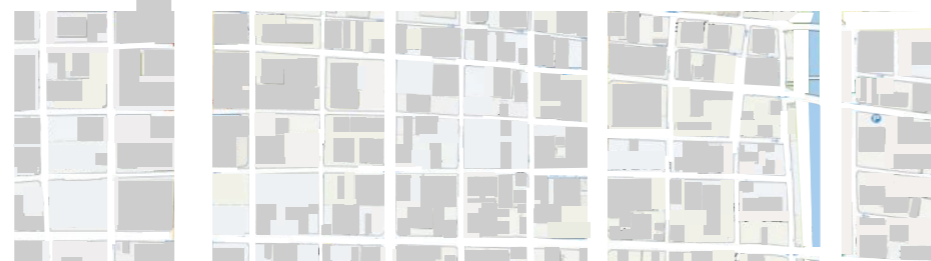
History & Problem

明治期



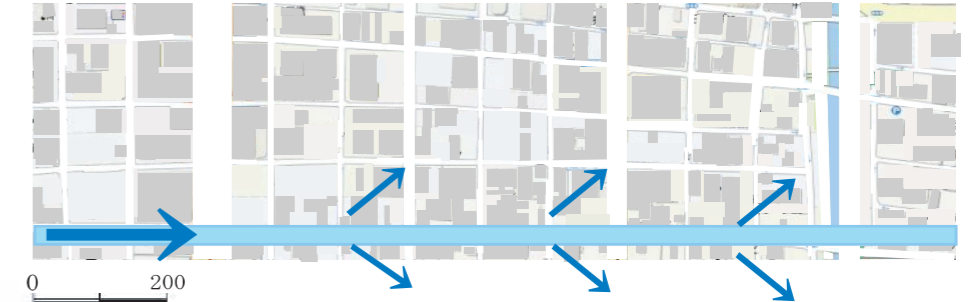
0 200 大阪都市地図より引用 (1886)

現在



0 200 yahoo!地図より引用し、作成 (2009)

Design



川 東西に流れる川が多く存在していた

川の多くが埋め立てられ、貯熱量の多いアスファルト舗装に変化した

→ 冷房排熱の増加
夜間の放熱量増加

旧京町堀川を復活させて、東横堀川とつなげる
大阪湾からの海風は川の上空を流れ、街区内に引き込まれる

にぎわい 川の存在により舟運等で東西の軸が栄えていた

広幅員の通りが南北に作られたことにより、町の賑わいが東西から南北へ移行している

→ 交通排熱の増加
東西軸の衰退

通りには、水や緑を基調としたデザインを施し、涼しさやにぎわい性を感じることができる空間を演出する

建物 木造の町屋が建築線に沿って立っていた

コンクリート等の貯熱量の多い素材に変化し、後退空地の有無により建築線に沿って立っていない

→ 気温、体感温度の上昇

建物は間口を揃え、公開空地を内部に配置し、人々が共有できるオープンスペースを確保する

ヒートアイランド発生